

ギフトセット「一坏の蓄（ひとつきのつぼみ）」の発売について

manorda いわて株式会社は、県内の酒造メーカー2社と漆事業者とのコラボレーションによるギフトセット「一坏の蓄（ひとつきのつぼみ）」の企画・開発段階からブランディングサポートに取り組んでおりましたところ、このたび、4月10日（土）に発売する運びとなりましたのでお知らせいたします。

遠野市の「上閉伊酒造株式会社」の梅酒、奥州市の「岩手銘醸株式会社」の純米吟醸酒、そして盛岡市の「株式会社うるみ工芸」による浄法寺塗の漆の盃を一つにまとめた新たな岩手の贈り物として自信をもってお勧めいたします。

3社の代表、パッケージデザインやラベルデザインを担当したデザイナー、ギフト箱を製作したパッケージ業者の代表はいずれも女性であることから、様々なことに積極的に取り組み、活躍する岩手の女性を応援する商品でもあります。

詳細につきましては、今後もニュースリリース等で発信していきますので、ぜひチェックしてください。弊社では、SDGsに連動した支援を通じて、新たな企業価値の創造や地域活性化に取り組んでまいります。

記

■ 制作メンバー

| | 担当 | 役割 |
|--------|-------|------------|
| 上閉伊酒造 | 新里 佳子 | 梅酒 |
| 岩手銘醸 | 及川 啓子 | 純米吟醸酒 |
| うるみ工芸 | 藤村 真紀 | 浄法寺塗り盃 |
| branch | 菊池 尚枝 | アートディレクション |
| 鈴木紙器 | 鈴木 美子 | パッケージ制作 |

■ 今後の予定

3月18日（木）商品ならびに各事業者集合写真撮影

4月2日（金）各事業者全員による箱詰め作業

4月10日（土）発売開始

※予定は変更になる場合がありますので、取材の場合には事前にご連絡願います。

■ 販売場所

パルクアベニュー・カワトク B1F 和洋酒売場での店頭販売

- コンセプト

験なき ものを思はずは 一杯の 濁れる酒を 飲むべくあるらし

上記の句は、万葉集の伴旅人「酒を讃むる歌」の中で歌われています。「物思いをするくらいなら、一杯のお酒を飲んでみませんか」という意味です。

商品を手にした人が、日々の忙しさをひととき忘れ、美しく輝く毎日を送れるようにという願いを込めて商品化いたしました。

- その他

本企画は、日本酒と漆器を組み合わせたプロジェクトの一環として行っております。

参考：「恋する MIX プロジェクト」

(https://www.iwatebank.co.jp/company/group/manorda/pdf/20210201_MIX-project.pdf)

- 本件に関するお問い合わせ先

担当：阿部綾佳（本プロジェクト企画調整担当）019-624-8100

以上